



博物館学校地域連携  
教育支援事業

メールマガジンWebページ

NEWS



YAMAGUCHI MUSEUM  
山口県立山口博物館

開館100周年記念マスコットキャラクター なっとくん

2012年11月(6号)

たくさんのご利用ありがとうございます!

平成24年度の博物館学校地域連携教育支援事業も後半になりました。お陰様で、10月末現在で出前授業延べ12,563人、来館利用5,787人、計18,350人のご利用をいただいています。ご利用の多くは小学校ですが、中学校においても「プログラムによる制御・・・ロボット教室」「動物の体のづくり・・・骨格標本利用」「地球と宇宙・・・太陽表面の観察」等のご利用があります。

先生方から、「手続きが難しいのでは?」「当日の対応は?」「後日報告が必要な?」といったご質問を受けることがあります。利用に伴う手続きは大変簡単です。まずは山口博物館へお電話いただき、質問していただければと思います。

出前授業、社会見学、職場体験学習等の実施にあたっては、事前によく先生方と相談を行い、先生方がどのようなねらいをおもちになっているかをお聞きし、その主旨にそった内容となるよう努力しています。現在、2学期中の予約はいっぱいの状況ですが、3学期は若干の余裕があります。ご利用をお待ちしています。



## 12月以降の行事案内

- 12月15日(土) 臨時天体観望会「クリスマスの夜空に宝石を見つけよう!」  
時間 18:30~20:30  
場所 山口市中市商店街「みんなの園」(山口井筒屋前)  
自由参加 雨天・曇天の場合は中止
- 12月16日(日) △ササビ観察会  
時間 15:00~18:30  
場所 当館と近郷の里山  
要申込(20名)
- 3月24日(日) サイエンストーク(最新的话题を交えながらサイエンスを語る)  
時間 13:30~15:00  
場所 当館講座室  
要申込(30名)



### 「周南ゆめ物語」に出展します!!

日時 12月9日(日) 9:30~16:00 (入場 15:00 まで)  
主催 周南ゆめ物語実行委員会  
後援 山口県立山口博物館  
場所 周南地域地場産業振興センター 展示室

先進の科学展示や体験的科学工作、電気自動車展示などが行われます。山口博物館もブース(化石レプリカづくり、参加記念あり)を担当します。入場は無料です。ぜひ来場ください。

## 紅葉のしくみは??

今年も、山口博物館の裏のイロハモミジがきれいに紅葉しています。よく見ると同じ木の中にいろいろな色の葉が見られます。地面に目を向けるとやはり、濃い赤、薄い赤、黄色の落葉が見られます。植物にとって紅葉とはどのような意味をもつのでしょうか。またどのようなしくみで色づくのでしょうか？



山口博物館裏のイロハモミジ

緑、黄、オレンジ、赤などの葉が見られます。

樹木は常緑樹と落葉樹に大別されます。しかし常緑といっても全く落葉しないわけではなく、古いものから落葉していきます。落葉のサイクルが異なるだけなのです。

紅葉の色は、その植物によって、赤くなるもの、褐色になるもの、黄色になるものがあります。それぞれがアントシアン、フロバフェン、カロチノイドという色素に関係があります。

春や夏には葉の中にある主な色素がクロロフィル（葉緑素）であるため、葉は緑色に見えます。しかし、秋や冬になると、クロロフィルが少なくなるため、もともと葉の中にあつた他の色

素が発色することと、温度の低下などをきっかけとして新たに色素の生産が行われることにより発色することの2つの要素が考えられています。



黄、褐色、赤などの葉が見られます。

「今年は紅葉がきれい」という言葉をよく耳にします。一般的に紅葉は1日の最低気温が8℃以下になると始まり、きれいに紅葉するための条件には

1. 昼夜の気温の差が大きいこと
2. 空気が澄んでいて十分日光を受けられること
3. 適度な湿度があり葉が乾燥しないこと

が必要とされています。

### 博物館学校地域連携教育支援事業アンケートの実施について

本事業は博物館のもつ教育資源を学校及び地域と連携し、有効に活用していただくことを主な目的としています。本年度その目的がどの程度達成できたか、課題は何かを把握し、来年度の活動に生かしていくために、県内の小、中、総合支援学校を対象に簡単なアンケートを実施したいと考えています。（12月実施予定）

大変お忙しい中恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。